

まつりを楽しむ

校 長 武井 正明

先日、自宅のある見附まつりで花火が上がった。

今年は高齢の義母がいるので2階で妻と3人で窓枠から折々眺める花火だった。こういう花火も悪くない。十分楽しめる。冷房の効いた部屋でグラスを傾けながら、背中で鳴る「花火を聴く」のも風情があっていいものだ。

その花火大会も、熊対策や会場運営費の削減やらで、来年以降はかなり様変わりするようだ。これも時代の流れだ、仕方ない…。

赴任1年目の吉田中の体育祭を観た時、その盛り上がりで圧倒された。とにかく勝敗に熱くなりボルテージが上がるものだが、吉中の生徒は（本当は違うのかもしれないが）あまり勝負に拘っているわけではなく、祭りの雰囲気自体を自分の流儀で楽しんでいるように感じた。

これはきっと、吉田まつりに小さい頃から慣れ親しんでいるのが影響しているに相違ない。吉中生は、まつりの楽しみ方を知っているのだ。



今夜は「おまつり LIVE 吉中カラーガード」がある。一昨年初めてその撮影をしようと思っていたら、その前に金太郎飴のように何チームものガードジュニア陣が登場して、その層の厚さに驚いた。子どもたちの、大人顔負けの一端の演技を披露する姿が可愛かった。

明日夜の楽しみは「山車巡業」だ。予想を遥かに超える素晴らしい山車が9台も、駅前を練り歩いていったのを初めて観た時は感動した。普段はお淑やかそうな吉中生も、別人のようにキラキラの瞳で切れ味鋭く、生き生きと舞を演じていた。今年も輝く君たちを激写したい。



僅か2回観ただけで、私もこれだけ吉田まつりが楽しみになった。そんな自分が嬉しい。吉田まつりの魅力はやはりおそろべし、なのである。

小さい頃から参加した吉田まつりの息吹そのままに、吉中体育祭に魂は受け継がれ、やがて大人になり親として運営し、それはさらに代々子や孫へ伝承されていく…。



祭りを楽しめるって素晴らしい!! それは豊かさの証。
今年の夏も災害なく、無事平和に迎えらることに感謝しながら、私も3度目の「吉田まつり」を満喫したい。
あとは天気。どうか降りませんように…。

(写真は去年のものです)